東洋交通労働組合
〒115-0051
東京都北区浮間5－4－51
TEL03(5970)9304
http://www.toyo-kotsu-union.jp

躍進
東洋交通労働組合

発行／2016年5月15日
編集／教宣部
41－10号

団体交渉の経過報告

【第3回　団体交渉】
2016年3月24日(木)11時～
経営側　仲取締役・伊藤部長・深澤次長
執行部　6名
(経営側)現在76％しかない稼働率を少しでも上げたいと考え、公出選択制を検討しましたが、リサーチした結果「出てみよう」という結果には繋がらないと判断しました。また優良乗務員表彰の基準を見直し、満勤した者に評価するということについても、やる人はやっているので、対象者が増えるとは思えません。公出を出ない理由として、祝日を振替えている人が多いので、満勤してもらう為に、現行1，000円の日・祝日手当を5，000円にするということを検討しています。試算してみましたが、現行出ている人だけに5，000円の手当を出すだけでも年間1，150万円の原資が出ます。
(組合側)稼働率を上げる為に検討しているなら、5，000円の手当は、公出を含めた満勤を条件にすることや、売上総額などでランクを設ければ良いのではないですか?また、当日欠勤の有給を規定通り認めないことで管理すれば、会社から出ていく分が減り原資が確保できます。公出日の稼働を上げるには、半日勤務を認めることで出られる人も増えると思います。

【第4回　団体交渉】
2016年4月6日(水)11時～
経営側　仲取締役・伊藤部長・深澤次長
執行部　6名
(経営側)修理手当の増額、病気急用での早退・遅刻時の1日分有給休暇、雪等の天災時の遅刻のカット無しについては前向きに検討するが、人件費率が高いので賃金・賞与の要求には応じられない。休日手当の増額は、稼働が増加する事がないと判断したので無い。
(組合側)台当たりの営収が増加し、利益が増加しているのに、賃金・賞与の改善がないことは全く納得できない。

【第5回　団体交渉】
2016年4月26日(火)9時～
経営側　山岡取締役・仲取締役・深澤次長
執行部　6名
経営側が『回答書』を提出
(経営側)1日分の有給休暇を認めることについては「1日休む」と言うより「1日出られる」という交渉でした。天災の遅延による時間カットは証明書を添付するという条件で認めます。修理手当の増額には今春闘では応じられません。解決金として7，695，000円を支払います。
(組合側)色々と問題が起きた中での春闘でしたが、不満は残りますが、誠意のある回答でした。中央委員会で提案し、審議します。

第87回 メーデー中央大会

2016年4月29日(水)10時から快晴のなか、代々木公園において第87回メーデー中央大会が開催されました。全自交東京地連からは250名(内、東洋交通労組20名)が参加しました。各単組の旗を掲げ、他の連合の団体と共に、安倍政権の労働法制の改悪反対、労働者の地位や労働条件の向上、権利拡大をはじめ、人権・労働基本権の確立、民主主義の発展、恒久平和の希求に貢献し、その役割を果たそうと声をあげました。

【義援金のお願い】

東洋交通労働組合が所属する全自交の仲間、熊本地本オーケー支部の現状です。
本部役員が支援物資を持ち現地入りして支援にあたっています。今、遠く離れている私たちにできること。支援カンパを募ります。ご協力をお願いします。
皆さまの温かいご支援をよろしくお願いいたします。
お寄せいただいた義援金は、「全自交」を通じ、全額を被災された皆様にお届けいたします。